

令和5年度に取り組んだ内容

ファシリテーション研修「暮らしに役立つファシリテーション」(全2回)

①グラフィックハーベスティング講座～『思い』や『対話』を見える化して行動に繋げよう～

講師：武由てるみ氏（市民ファシリテーターCLIP）／ゲスト：由辺エミ氏（県内で「グラフィッカー」として活躍）
絵や文字、色を使って話し合いを見える化する「グラフィック」の描き方や活用方法を講師やゲストが紹介し、参加者はその手法を学びました。

②相手を知り人と繋がる力を育てよう

講師：鈴木貫司氏（菊川市民協働センター）
大学卒業後の経験談を聞き、ファシリテーションの大切さを学びました。グループのメンバーで共通点を探す活動や「相手と話すときに大切にしていることは何か」の問いに対して、意見の共有をしました。また、チームビルディング活動を行いました。



▲基本的な描き方を学び、実践として1枚の紙に描く活動

「高校生と大人の対話の場～出会いと対話で自分の選択肢を増やそう!～」(全4回)

①トーク・フォークダンス～話して繋がろう～

相手を変えながら、「豊かで幸せになれるために必要なものは」「タイムスリップするなら過去か未来か」などのテーマについて1対1で話し合い、1分間の中で相手に伝える技術を学びました。

②語 ring ～卒業生のお話を聴こう～

ゲストとして地域リーダーのOB・OG、大学生、社会人が参加し、活動を行いました。卒業生から、高校在学時の体験談や現在の生活などを聞いた高校生は、今後の進路について考えました。

③プレゼンの仕方を知ろう

講師：宮本淳子氏（常葉大学短期大学部准教授）
講師のラジオ局でのアナウンサー経験を生かした滑舌や早口言葉の練習、「自分の好きなもの・こと」をテーマにグループで発表をしました。

④対話して話を共有しよう

高校生が運営スタッフとして、企画や司会進行を行いました。高校生が考えた「人の幸せって何だろう」「牧之原市で困っていることは何か」などのテーマで話し合い、共有しました。



▲卒業生が現在の活動を紹介



▲発表する際のポイントを学びました



▲「グラフィッカー」にも挑戦

運営スタッフ会議(全2回)

高校生がファシリテーターと一緒に、企画・運営を実施しました。参加者に投げかける「問い」や「場づくり」について考え、運営側の視点を経験しました。



▲ファシリテーターとの会議



▲高校生が司会進行に挑戦

地域リーダー育成プロジェクト



「対話」から「未来の行動」につなげる

市では、高校や地域と連携・協働し、地域を支える人材を育てることを目的に、「地域リーダー育成プロジェクト」を実施しています。この事業は、平成27年度から実施しており、地域の高校生・大学生・大人が参加し、対話や活動を行っています。

令和5年度は、高校生が大学生や地域の大人と対話することをとおして、自分の将来について考える機会となりました。今後も、将来のまちづくりの担い手となる人材育成に取り組んでいきます。

問い合わせ 地域振興課 河原崎美幸 ☎0053

参加者の声

※学年は令和6年3月末時点



相良高校3年
佐々木達矢さん

自分や相手の「当たり前」を知る

参加した活動を通して、「当たり前を疑う」ことを意識することができました。大人の人達と対話をする中で、人によって常識や感じ方の違いを感じ、自分の「当たり前」を押し付けないことや、相手の「当たり前」を知ることなどが大切だと考えました。対話において柔軟な考えと捉え方を意識した会話を心掛け、自分のコミュニケーション能力の向上につなげていきたいです。

多様な人々とのコミュニケーションに生かす

言い方一つで相手への伝わり方や話の構成で理解のしやすさが変わること、身をもって知ることができました。また、ファシリテーターとして大人の方々と一緒に企画・運営したことで、今まで自分が過ごしてきた「高校生」というコミュニティにはなかった視点での意見を聞くことができ、視野が広がったと感じています。将来さらに増えていくであろう多様な人々とのコミュニケーションに学びを生かしていきたいです。



榛原高校3年
沖田心優さん

令和6年度も「地域リーダー育成プロジェクト」を実施します

今年度も高校生の皆さんをはじめ、どなたでも参加できます。第1回目は6月23日回に「トーク・フォークダンス」を開催する予定です。

多くの皆さんのご参加をお待ちしています。詳細は、市ホームページなどでお知らせします。